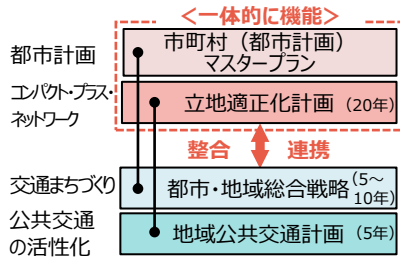


都市・まちづくりと連携し基幹的交通軸を成す魅力あるバス輸送システムの計画の全体像

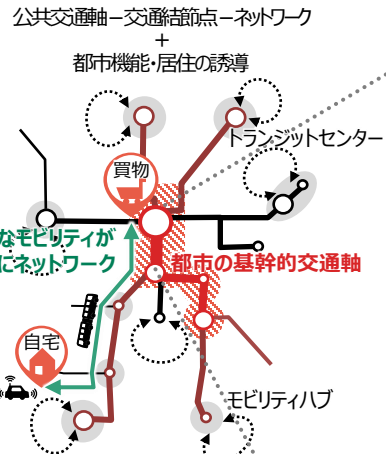
ー 公共交通ネットワークとウォーカブルが融和した骨格軸の形成へー

計画間連携と明確な目標設定



持続可能な*1都市構造の誘導

*1 環境面、経済面、社会面



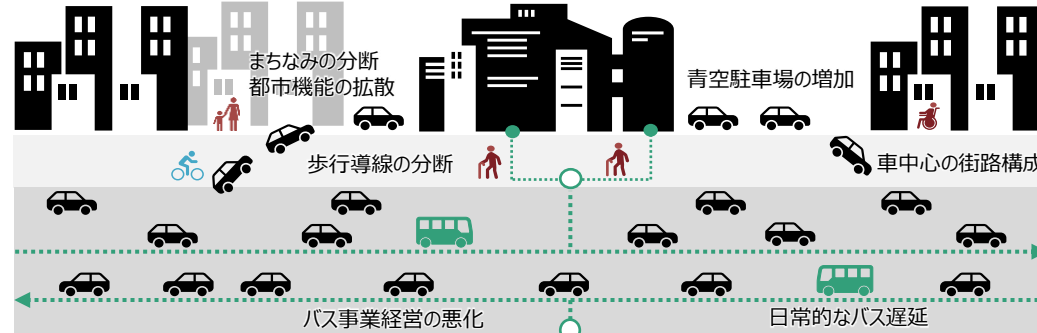
都市軸の姿

- 空間
1. 中心地区から伸びる線状
 2. 様々な機能が高密度に集積
 3. 連続的につながっている

基幹的交通軸の意義

都市軸内の高密度な移動を担える
高頻度で信頼できる移動の供給

（これまで：車中心のストリート）



基幹的バス輸送システムの導入 & 街路空間の再編、交通結節点の整備、ウォーカブルなまちづくり、駐車場施策、土地利用施策、...etc

軸まちづくり 人中心のマルチモーダル・ストリートへ*2

地域全体の社会資源：都市・まちづくりと連携した魅力あるバス輸送システム

reliable / 信頼できる

- ・移動の時間が読める（定時性、高頻度）
- ・必ず乗れる（積み残しが少ない）
- ・運行情報が分かる
- ・運賃が分かり易く支払いも容易

walkable / 歩行者中心

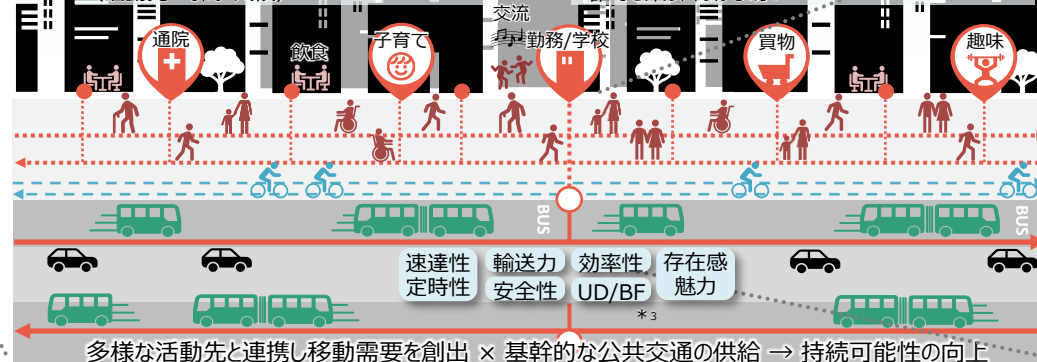
- ・居心地がよく歩きたくなる道
- ・周辺施設と一体的で待つことも苦にならない（活動先・時間・気候）

enjoyable / 魅力的で楽しい

- ・バスとまちとの親和性を感じられる
- ・車内が快適で、乗り心地がよい
- ・車両等がトータルデザインされ存在感、魅力を感じる
- ・様々な情報が得られる、目的地に早く行ける

accessible / アクセスしやすい

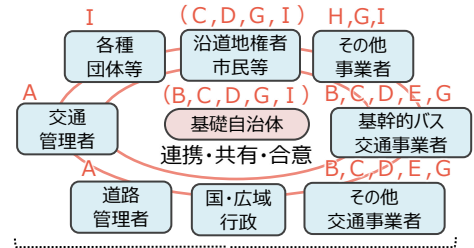
- ・バスと多様な都市機能に相互アクセスし易い
- ・交通拠点やバス停の場所が分かり易い
- ・誰でも乗り降りし易い



*2 更にトランジットモールを目指すことも望ましい

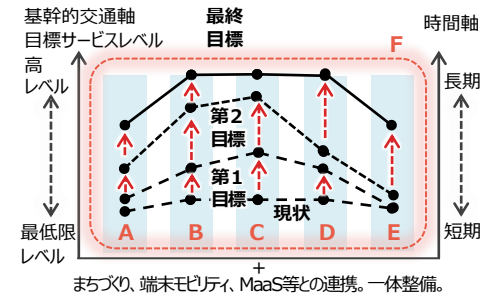
*3 UD：ユニバーサルデザイン、BF：バリアフリー

まちぐるみの協働体制構築と現況分析



影響、期待効果 ↑ 難易度（法的、協議的、費用的）

サービスクオリティの段階的な向上



バス輸送システムの構成要素の工夫

